



RALLYSAFE ラリーカー 取り付けキット マニュアル

電力供給 12 ボルト (ご熟読ください)

RallySafe は、9 ボルトから 28 ボルト DC まで継続的で安定した電力供給を必要とします。皆様の安全と作動継続のためには、ユニットが必ずバッテリーのプラス末端或いは遮断スイッチのプラス側でスイッチ非連動供給に接続されていなければなりません。**常に電力がユニットに供給されているようにしてください。点火スイッチ電源供給を使用しないでください。**

5 amp(最大)ブレードタイプ或いは同等品質のヒューズを、RallySafe 社電源ケーブルのバッテリー供給の末端に使用しないでください。

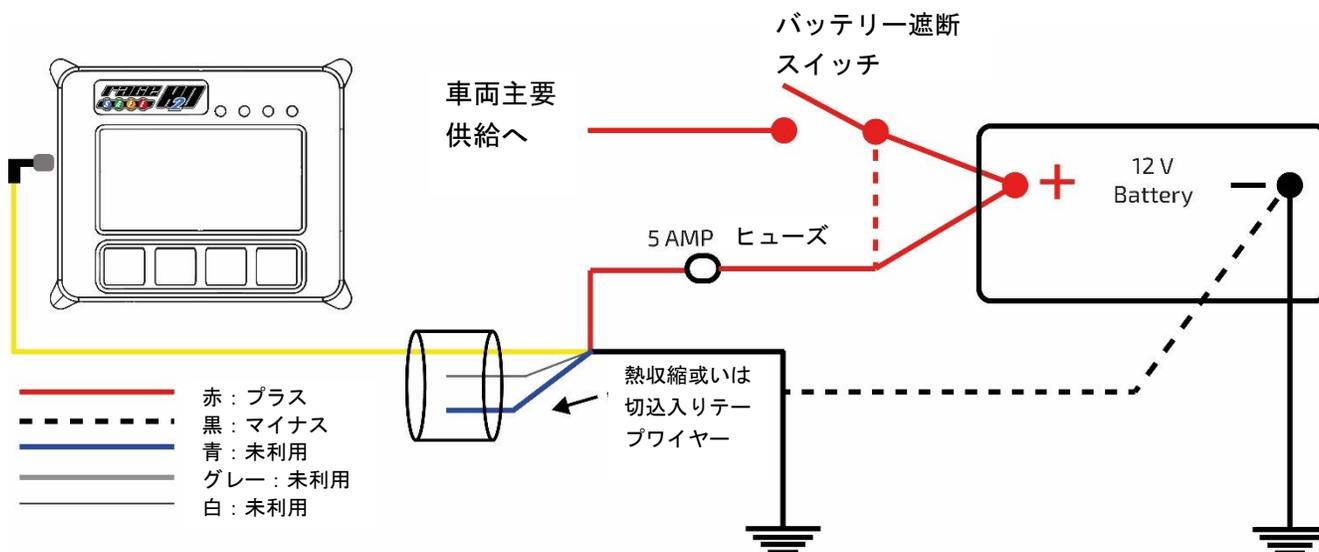
遮断スイッチがバッテリーのマイナス側をオンにしなければ、ゼロボルト或いはマイナスバッテリーを、適切な接地点で使うことができます。

RallySafe のユニットは、車のパワーサプライ経由で充電し続ける内臓バッテリーを有します。車のパワーサプライが中断される事故の場合、即ち、車のバッテリーが打撃を受けるか外れた場合、ユニットに電力供給する予備供給として作用します。

RallySafe のユニットが動きや位置を感知するため、5 分間動きがないことを検知すると自動的に節電/スリープモードに入ります。但し、ユニットは作動中安全信号を送りながら、機能し続けます。ユニットは、ボタンを押して、或いは車が動くことで、『起動します』。

黄色の動力織機には、5つのワイヤーがあります。**白、青、グレーは、ショートアースしないよう、或いは互いにショートしないよう、互い違いに切り込みを入れるか、熱収縮させるか、或いはテープで貼らなければなりません。**赤と黒は以下の通り使用します:

接続見取り図

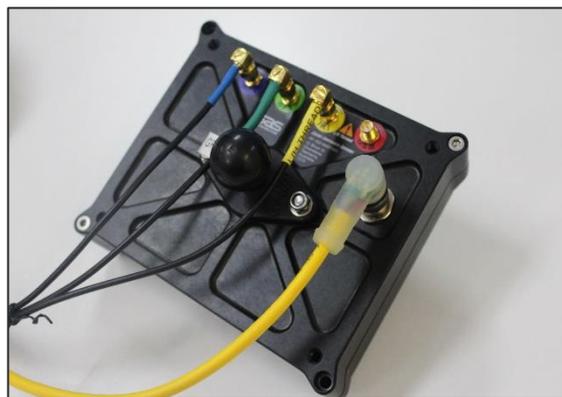


RALLYSAFE 12V 配線見取り図

組立並びにアンテナのリード



標準ユニット。注：すっきりと障害物のない状態のユニットと空中線



全ての空中線と電線を接続させた状態のユニット背面。



最低 300mm の RallySafe パワーサプライケーブルとアンテナリードを、ユニット接続用に組立ブラケット位置に残してください。



アンテナリードは、次の通り接続されています(リードのタイプや数によって異なる場合があります)。

- 1 Wi-Fi リードは、**青**に色分けされ、RallySafe ユニットでは『Wi-Fi』のラベルが付いた端末に接続されています(右ねじ)。端末はユニット側或いは背面にあるか、若しくは青く色分けされています。青い無線アンテナリードが2つ(外付アンテナに1つ、内臓アンテナに1つ)ありましたら、内臓アンテナのリードを利用してください。将来利用できるよう、予備の外付アンテナをきちんと巻き、収納してください。
- 2 衛星通信アンテナ用リードは、『IRI』のラベルが付いた端末中央或いは背面に接続されています(左ねじ)。**黄色**に色分けされています(2-in-1 アンテナでは色別されていません)。
- 3 『GPS』のラベルが付いた GPS アンテナのリードは、RallySafe ユニット上『GPS』のラベルが付いた端末に接続されています(右ねじ)。端末はユニット側か背面にあるか、もしくは**緑**に色分けされています。
- 4 オプションの GSM には、RallySafe ユニットと納品される小さなスティック・アンテナがあり、RallySafe ユニット上『GSM』のラベルが付いた対応する端末に接続されています(左ねじ)。端末は、ユニット側か背面にあるか、もしくは**赤**に色分けされています。

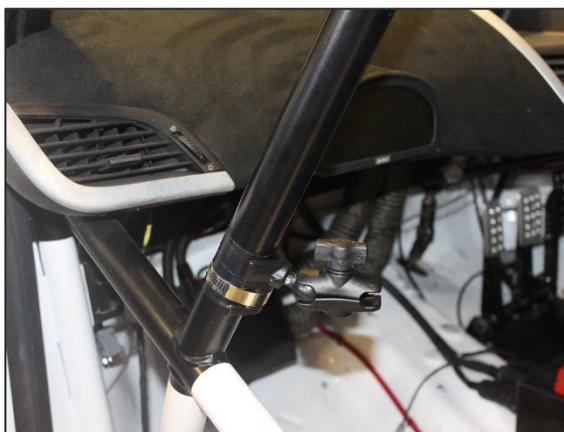
ユニット組立 & 寸法

RallySafe ユニットの組立方法としては、3mm のアルミのバックングプレートを持つダッシュボードからボルトで締める、ボール付 RAM 方式 50mm x 75mm フラットベースをお勧めします。中央の保護された位置に組立、ドライバーとコ・ドライバー（ナビゲーター）の双方から見やすく、アクセスしやすくしてください。お勧めする組立方法と位置の写真につきましては、以下をご覧ください。

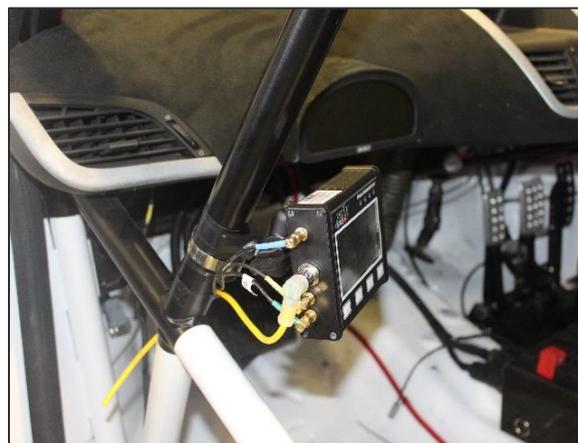
RallySafe ユニットの組立方法は他に、コ・ドライバー側前方脚ロールケージ上、ボール並びにコネクター締め具付直角ロールケージ・ブラケット上となります。(前後の写真にも表示)。

RallySafe ユニットの周辺視野が画面の警告や通知をとらえられる垂直方向に組立てるようにしてください。ユニットを見れるようにしてもらいたいと望むドライバーもいれば、コ・ドライバーに画面を見させ、必要な安全信号を出させたいと思うドライバーもいます。

組立例



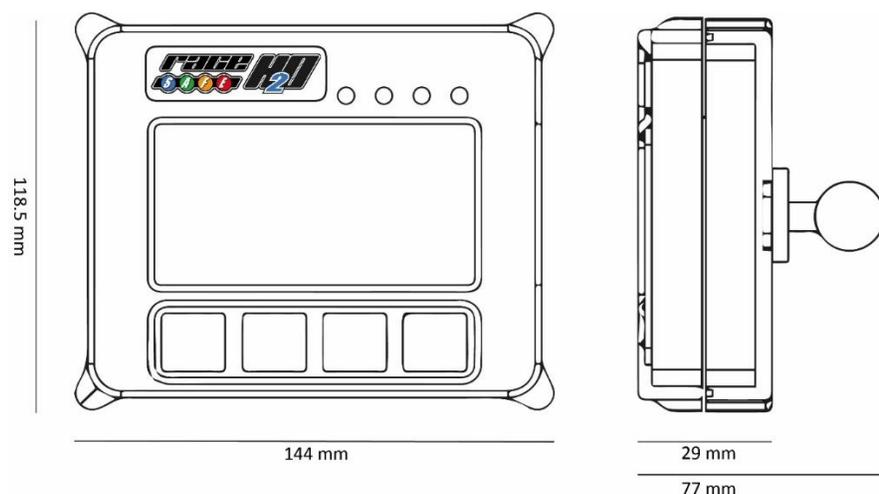
ここで、25mm ゴムボール台がロールケージの A ピラーバーに安全に付けられます。



そして RallySafe ユニットが 25mm のゴムボール台に組立てられます(RallySafe コネクターから取付)。



ユニット寸法



アンテナ設置

内外アンテナのリードは全て、全てのロールケージバーの裏側を通らなければなりません。これは、衝撃でケーブルがクラッシュするのを防ぐためです。推奨経路は、アンテナから下方へロールケージの直近部分（ルーフクロス或いはメインフープ）より、ルーフのフープ沿いに進んだ後、Aピラー内部をユニット方向へ下るものです。余分なケーブルは、半径 100mm よりもきつく曲がらないように巻いてください。ダッシュボードの下側を横切って後ろで巻くようにしてください（狭い輪の中で巻かないでください）。ケーブルは、誤って挟まったり、外れたりしないよう、取り付けユニット全体にわたってきちんとユニットに固定してください。これは全て車検でチェックされ、貴方の車がパスする前に固定する必要があります。

ボルト付けアンテナ (推奨):

アンテナは車両のルーフの中央部、12mm の穴から取り付けます。なるべくメインロールバーフープより 50mm 前方で配線がルーフを通り、ケージバーが RallySafe ユニットの位置まで続くようにします。アンテナは、ルーフの表面ではじく完全な耐水ユニットとなっています。

特別な状況下では、ルーフからの穴を必要としない一時的な貼り付けアンテナを発注できます。但し、通信状態を極めて高めますので、標準的な2-in-2 アンテナのご利用を強くお勧めします。



ボルト付けアンテナ向け段階別工程



貼り付けアンテナ (代案):

アンテナを車両のルーフに、なるべく配線がドアシールを通り、Rally Safe ユニットの位置までケージバーが続くように、最終 Rally Safe ユニット組立位置にすぐケーブルが届く範囲に取り付けます。アンテナは、ルーフ表面ではじく完全な耐水ユニットとなります。配線は、車の外側に対して適切にテープ止めし、保護する必要があります。

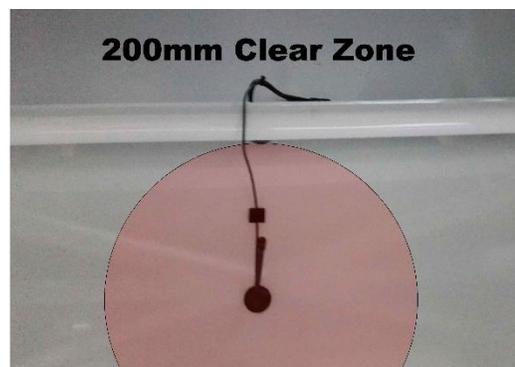


内臓 Wi-Fi:

内臓 Wi-Fi は、バーが設置してない、或いは固形の金属物のない半径 200mm 以上の片付いて整頓された場所、ルーフの内側に置いてください。内臓 Wi-Fi アンテナには、接着用両面テープの付いた磁石盤があります。ケーブルは Rally Safe ユニットに巻かれます。**事故の場合に押しつぶされないよう、ケーブルをロールケージの裏側に置いてください。**このアンテナの位置づけや組立が悪いと、対車機能、即ち『Push to Pass 安全警告』機能等が落ちることになります。これもまた、貴方の外付アンテナに損傷が生じた場合に、他の車両経由で競技会本部に自分の安全状況を伝えるのに重要です。



ここでアンテナを屋根の内部中央に貼り付けます(推奨)



内臓アンテナはいかなるロールケージ部品からも 200mm 離してください。

ユニットの電力消費表 & 仕様

パワーケーブル導線仕様	
導線数	5
外部直径	2.5mm
素材	銅
電流定格	5A

12 ボルトでのユニットパワー消費	
移行モードにおける電力	.200A
移行モードにおける電力 - 充電	.300A
出力低下 - スリープモード	.002A
稼働中の送電事故	.250A

お問い合わせ

STATUS AWARENESS SYSTEMS

14 Short St, Ulverstone

Tasmania, 7315

AUSTRALIA

Phone: +61 3 6425 7003

Email: contact@rallysafe.com.au